

都市基盤・環境・産業振興の政策領域

町道下宇美～志免線道路改良事業(新) 3,110万円

築造から16年が経過した緑道の下宇美部分の舗装整備を行うとともに、歩行者と自転車の通行帯を路面標示で区分する安全対策工事を2ケ年に分けて実施します。

都市計画マスタープラン策定事業(新) 814万8千円

本年度から2年間で「宇美町の都市計画に関する基本的な方針」を策定します。

最終処分場2期整備事業 5億4,647万6千円

本年度から2年間で埋立容量が約45,000m³の最終処分場2期工事を行います。同事業は、国の循環型社会形成推進交付金事業です。

地域防災計画作成事業(新) 1,207万5千円

昨年3月に県が土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域を指定したため、宇美町地域防災計画の見直し作業を行います。

第4分団コミュニティ消防センター整備事業(新) 2,964万2千円

老朽化した第4分団車庫(管轄:井野、新井野、ひばりが丘1～3、平成)の新築工事を行います。

中の原池改修事業(新) 3,254万1千円

老朽化したため池の取水施設を改修します。同事業は、県の農村環境整備事業にて行います。



子育て・教育・文化の政策領域

子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査業務委託事業(新) 206万9千円

平成26年度に同計画を策定するため、事前に地域の保育需要等を把握します。



児童虐待防止対策緊急強化事業(新) 511万6千円

児童虐待や子育て相談のための「(仮称)子ども養育相談員」を配置し、相談・支援体制の強化を図ります。

特別支援学級支援事業(新) 577万8千円

障がいを持つ児童生徒の教育的ニーズにきめ細やかに対応するため、特別支援学級支援員を任用し学習支援等を行います。

不登校対策事業 156万円

学校だけでなく、福祉などの関係機関と連携し、不登校の解決を図るため、教育相談員を昨年度に引き続き配置します。

学校運営協議会支援事業 309万9千円

コミュニティ・スクールを全国に広めるための調査研究事業(文科省指定)の集大成として「宇美町コミュニティ・スクール全集」を発刊する費用等を計上しています。

水城・大野城・基肄城1350年事業 48万2千円

同事業実行委員会の設立に伴う事業負担金、ガイド本作成のための印刷製本費、大野城跡文化財ウォーキングなどの経費を計上しています。

※町ホームページ(http://www.town.umi.lg.jp/)でも「宇美町の財政状況」を公表しています。トップページ「宇美町について」→「町の財政・情報公開」→「宇美町の財政状況」からご覧いただけます。【問い合わせ】総合政策経営課 TEL.934-2247

平成25年度の主な事業

～宇美町第5次総合計画の政策領域～

※(新)は新規事業

コミュニティ・行政運営の政策領域

コミュニティ支援業務委託事業(新) 412万8千円

共働のまちづくりの推進のため、コミュニティの現状分析業務と職員研修ワークショップ業務の委託を行います。



昭和町町営住宅用地地盤調査事業(新) 1,638万円

昭和町町営住宅隣接地の南側傾斜地に地滑りの兆候が見受けられたため、地盤調査を行います。



共働のまちづくり推進委員会関係経費(新) 12万6千円

専門的な知識・経験を有する方やボランティア・NPO等の町民活動団体関係者等で構成する委員会を設置します。



町長・町議会議員選挙費 1,467万8千円

平成26年3月5日任期満了に伴う宇美町長及び宇美町議会議員一般選挙の管理執行に係る経費を計上しています。

健康・福祉の政策領域

緊急通報システム業務委託事業 449万8千円

単身世帯等の在宅要援護高齢者または障がい者に対し、緊急通報システム機器を貸与し、緊急時に適切な対応を図ります。

特別支援学校放課後等支援事業運営委託事業(新) 93万1千円

太宰府特別支援学校に在学している児童・生徒を放課後及び長期休暇中に預かり、運動や創作活動等により余暇を楽しく過ごす場を提供します。

乳幼児・子ども医療支援事業 8,765万5千円

小学校就学前までの児童に対して医療費の一部を助成していますが、今年度から入院適用年齢を小学校卒業まで拡大します。



養育医療給付事業(新) 762万3千円

入院加療を必要とする1歳未満の未熟児に対して、指定医療機関における医療費の自己負担について公費助成する費用です。

